

## 実務経験証明書

記入例

次の者は、土木一式工事に、次のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

●年●月●日

入札案件の工種を記載してください。  
下記実務経験の内容には、ここに記載した工種  
と同種工事の実績を記載してください。  
他工種の実務経験として使用した期間との重複  
はできません。

茅ヶ崎市茅ヶ崎●●●●

●●株式会社

代表取締役 ●●

証明者の立場からみた被証明者との関  
係を記載してください。

証 明 者

被証明者との関係

従業員

在籍期間を記載  
してください。

記

技 術 者 の 氏 名	茅ヶ崎 ●●	生年月日	●年●月●日	使用された 期 間	●年●月から ●年●月まで
使 用 者 の 商 号 又 は 名 称	●●株式会社				
職 名	実 務 経 験 の 内 容			実 務 経 験 年 数	
工事主任	●●工事他			平成16年2月から平成16年12月まで	
〃	●●工事他			平成17年1月から平成17年12月まで	
工事課長	●●工事他			平成18年1月から平成18年12月まで	
〃	●●工事他			平成19年1月から平成19年12月まで	
工事部長	●●工事他			平成20年1月から平成20年12月まで	
〃	●●工事他			平成21年1月から平成21年12月まで	
〃	●●工事他			平成22年1月から平成22年12月まで	
〃	●●工事他			平成23年1月から平成23年12月まで	
〃	●●工事他			平成24年1月から平成24年12月まで	
〃	●●工事他			平成25年1月から平成25年12月まで	
〃	●●工事他			平成26年1月から平成26年10月まで	
職名がない場合は「主任技術者」等、従事した立場を具体的に 記載してください。				年 月 から 年 月 まで	
法人の解散等、正当な理由により過去の 使用者の証明を得ることが出来ない 場合のみ記載してください。				年 月 から 年 月 まで	
使用証明を得ることが できない場合はその理由				合計 満10年7月	

## 【実務経験年数について】

●連続する期間、複数の建設工事に切れ目なく従事していた場合は、1行につき1年を超えない範囲でまとめて記載してください。ただし従事していない月が1月以上ある場合は、まとめて記載することはできません。  
●1行で1年に満たない期間を記載した場合には、実務経験年数の始めの月は実績の対象となりません。  
●連続する期間、複数の建設工事に切れ目なく従事していた場合の、始期年の始めの月及び終期年の終わりの月は、実績の対象となりません。  
(例1)実務経験合計 19か月  
・平成16年2月～12月 → 10か月  
・平成26年1月～10月 → 9か月  
(例2)実務経験合計 35か月  
・平成23年10月～12月 → 2か月  
・平成24年1月～12月 → 12か月  
・平成25年1月～12月 → 12か月  
・平成26年1月～10月 → 9か月  
(例3)実務経験合計 44か月  
・平成27年1月～12月 → 11か月  
・平成28年1月～12月 → 12か月  
・平成29年1月～12月 → 12か月  
・平成30年1月～10月 → 9か月

●実務経験の期間は重複しないように記載してください。従事期間が重複する場合、いずれか一方の期間で計算します。

## 記載要領

- この証明書は、建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。

使用された期間ではなく、実務経験年数の合計を記載してください。  
こちらに記載する期間が、実務経験年数の確認対象となります。